

令和4年9月29日（木）

令和4年度 第1回予告なし避難訓練 総括

健康安全指導部 安全担当

1. 全体総括

ねらいについて、事後アンケート結果では概ね達成されたと考えられる。しかし、放送から得た情報から、理科室での火災に対して子ども達の避難経路の選択が適切であったかについては課題が残る。また、昨年度からの課題である③「おはしも」の「し」については、運動場中央に集まった時や運動場に避難する時などに私語があり、未だ課題を解決できていない。ただし、6年生の自由記述アンケートから、日頃の学習で意識も高まっているのもあり、今回の予告なし避難訓練の自分たちの取組に対する充実感を得ている様子も感じられた。

以上の事から、第2回予告なし避難訓練は実施内容を変えずに実施をし、実施予定の週に第1回予告なし避難訓練の課題を踏まえた事前指導を行うことで、改善を図っていく。

(1) 実施日・実施内容について

変更なし（10月27日（木）昼休み～モジュール）

(2) 事前指導の内容について

- ・③「おはしもを守る」の中でも、特に「しゃべらない」を徹底すること。
- ・放送を焦らず正確に聴き、放送の指示に従って動くこと。
- ・避難経路の想定をクラスでする。（「教室にいて、理科室で火災が起きたらどう逃げるか」等）
- ・出席番号順の並びの確認をすること。

2. 事後アンケート結果

(1) ねらいは達成できていたか。

【達成された】【達成されていない部分があった】

①放送を静かに聞く

- 1・3・5年昇降口では静かに放送を聞くことができていた。
- 放送が聞こえた瞬間から静かに聞き、考えて行動できていた。

②頭と体を守る

- 頭や体を守る行動も事前指導の通りにできていた。
- 1人でも廊下の中央に移動し、身を守る児童もいた。
- 放送で慌てて走ってしまったが、周りを見てその後は歩くことができた。
- 廊下から教室にさっと戻り、体を守る児童がいた。（より良い身の守り方を選んでいる）

③「おはしも」を守る

- ゴミステーションの出口から避難した児童は静かに避難できていた。

④危険な場所から離れる

※真剣に避難する姿

- 運動場に並ぶ時に緩みはなかった。

【達成されなかった】

①放送を静かに聞く

- 運動場・1年教室では、放送が始まったらすぐに動いていた。
- 放送を最後まで聴かず、予測でフライングしてしまった子がいた。(自ら考えようとしすぎて)
- 放送「避難開始」を聞かず動いていた。
- 出席番号順が分からず声が出た子がいた。

③「おはしも」を守る

- 「し」が守れていない。注意をしたがるので、自分の身を守ることを意識させる。
- ※予告なしということもあり「こわい」という声が低学年から出ていた。

(2) 児童の避難の仕方について2回目までに児童へ周知した方がよいことがあれば教えてください。

- ・とにかく「しゃべらない」を徹底する。
- ・放送を良く聞き、「避難開始」を聞いてから動く。
- ・近くて、混んでいなくて、火元から遠い出口を使う。
- ・自分の身を守ることを意識させる。(友達に注意するのではなく)
- ・避難経路を考えさせる。今回は理科室からの出火だったので、渡り廊下の下の通路は危ない。

(3) その他お気づきの点

- ・アンケート：クラス集計は見ることができますか？
- 今回のアンケートでは、低学年の集計と中～高学年の集計はみることはできますが、各クラスや学年の内訳は見るできません。
- マスクはあるが、口をタオル等でふさぐ様子が見られた。(今までの避難訓練の成果)

(4) ふりかえりの中で児童から「もっと工夫できること」が出ていれば、教えてください。

- 5年教室から理科室を避けて降りる方法として、混んでいる東階段を使わなくても、中階段や西階段を垂直に降りて煙を吸わないようにするのもありだと、子ども達が気付いていた。
- 外に出た後に、はばたきの森から避難させれば良かったが、理科室下を通してしまった。
- 「し」ができていなかったから、普段から静かにすることを意識する。